

# 2016年のシラヒゲウニ種苗生産

松尾和彦\*<sup>1</sup>・佐多忠夫\*<sup>2</sup>

## 1. 目的

県内漁業者、市町村からの放流用種苗要望数94,000個体、養殖用種苗3,000個体を配付するためシラヒゲウニの種苗生産を行う。

## 2. 材料と方法

シラヒゲウニの種苗生産方法は、玉城ほか(2015)に従った。

## 3. 結果と考察

種苗生産状況を平成28年度西日本種苗生産機関連絡協議会介類分科会会議資料より抜粋し、表1に示す。

種苗配付状況を資料9 2016年の養殖及び放流種苗受け取り来訪者団体名より抜粋し、表2に示す。

表1 平成28年度(2016年)のシラヒゲウニ種苗生産状況

生産(採卵)開始年月日 : 平成27年11月18日			
項 目	概 要	問 題 点 及 び 対 策	
親	飼育水槽 種類 サイズ・水量・面数 親の大きさ 個体数(雌雄別も) 餌の種類 飼育年数	天然採取・FRP製 20kL、1面 66~90cm 40×2回(不明) 海藻・陸上植物、桑の葉 当日採取~1年	
採卵	方 法 採卵数(×10 <sup>4</sup> 個) 孵化数(×10 <sup>4</sup> 個) 孵化率(%)	KCl注射 2,450 2,134 87.1	
浮遊期の飼育	飼育水槽 種類 サイズ・水量・面数 収容密度(個/ml) 餌料 水温範囲(°C) 換水率(回転/日) 通気方法 生残率(%) 採苗率(%)	アジテーター付1kLパンライト 1kL8面 0.4~1.0 <i>Chaetoceros gracilis</i> <i>Dunaliella sp.</i> 21.5~27.3 50%換水(0.5μ精密ろ過海水) 水槽底面塩ビ管 弱通気 62.5 5%未満	幼生の発育差の大きい事例が多い
着定期の飼育	飼育水槽 種類 サイズ・水量・面数 収容密度(個/l) 餌料 水温範囲(°C) 換水率(回転/日) 通気方法 コレクター	屋内FRP製 15kL 18面 20 付着珪藻 21~27 1~3回転/日 砂ろ過海水の換水 水槽底面の塩ビ配管による通気 ポリカーボネイト製波板	現在も実施中。 着底・変態がうまくいっていない。
剥離後の飼育	飼育水槽 種類 サイズ・水量・面数 収容方法(直播は空欄) 収容密度(個/l) 餌料 水温範囲(°C) 換水率(回転/日) 通気方法	トリカルネット製カゴ 1.5×0.7×0.7 2,000~3,000個/カゴ 桑の葉、フロリダ産ミリン 20~30 20 水槽底面の塩ビ配管による強通気	
その他		通年で複数回実施(目標到達まで実施)	

2016年9月8-9日開催平成28年度西日本種苗生産機関連絡協議会第36回介類分科会資料より抜粋

\*<sup>1</sup>現在の所属：農林水産部漁港課

\*<sup>2</sup>：退職

表2 2016年のシラヒゲウニ配付状況

配付年月日	配付先漁協・団体名	配付数 (個体)	殻長 (mm)	用途 (養殖・放流)
2016/9/28	沖縄市漁業協同組合	1,500	20.0	放流
2016/6/17	宜野座漁協	15,000	28.0	放流
2016/7/29	宜野座漁協	10,000	31.0	放流
2016/12/9	恩納村漁協	1,700	37.0	放流
2017/2/21	佐敷中城漁業協同組合中城支所	5,000	13.0	放流
2017/2/16	渡名喜村漁業協同組合	2,000	18.0	放流
2016/11/11	中城沿振協	2,500	26.0	放流
2017/3/31	今帰仁漁協	960	44.0	放流
2017/3/31	今帰仁漁協	180	58.0	放流
2017/3/29	佐敷中城漁業協同組合北中城支所	2,500	23.0	放流
2016/7/13	宮古島市海業センター	15,000	12.0	放流
小計(放流)	11件9団体	56,340	22.7	
2016/6/3	沖電開発	1,000	10.0	養殖
2017/3/3	沖縄市漁業協同組合	1,000	14.0	養殖
2016/5/30	北大東村	1,000	10.0	養殖
2016/7/11	北大東村	1,000	17.0	養殖
2017/3/13	北大東村	1,000	11.0	養殖
2016/10/8	座間味村漁協	1,000	20.0	養殖
2016/10/7	羽地漁業協同組合	2,500	22.0	養殖
小計(養殖)	7件5団体	8,500	16.1	
合計	18件14団体	64,840		

#### 4. 文献

玉城英信・中村勇次, 2015: 2013年のシラヒゲウニ種苗生産. 平成25年度沖縄県栽培漁業センター 事業報告書 24, 32-35.